

## インターバンクの声（2014年9月2日）

今週は先進国各国で中銀会合が開催されるが、本日、先陣を切って豪州の中銀会合が開催され、13時30分に政策金利が発表される。

現在、11会合連続で2.50%の政策金利の据え置きが決定されており、今回の会合でも据え置きが予想されている。今回も前回同様に、政策金利よりも、同時刻に併せて出てくる声明文に注目が集まっている。

四半期金融政策報告では、2014年末の基調インフレ率見通しを2.50%から2.25%に引き下げられているが、今回の会合に於いて、利下げ観測が後退すれば、豪ドルを下支える一方、豪ドル高に対し、牽制が強まれば、短期的な豪ドル安も有りえる状況である。

豪ドル・円相場は8月下旬に日足の雲の上限をブレイクし、足元では上昇基調が続いている。中には豪ドルは昨年4月に付けた105円台の高値を目指す可能性があるという強気な声も聞こえてくるが、その勢いは本物であるかどうかを他の経済指標も併せて見極めたい。

昨日は、米国が祝日とあって値動きは総じて限定的だったが、本格的に為替相場が動き出すのは本日からかもしれない。

---

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。